

静脈注射Ⅲ - b ~CVポートへの穿刺・抜去~

2年目看護職員および新任者が静脈注射Ⅲ - b（CVポートへの穿刺・抜去）を受講しました。CVポートに関する講義を事前にDVDで視聴し、トレーニングモデルを使用して演習を行いました。2年目看護職員は初めての穿刺と抜去に難しさを感じていましたが、CVポートの管理や手技について理解が深まった様子でした。新任者は当院での物品や決まりについて確認しながら実施していました。

使用したトレーニングモデル



リアルな感覚で
穿刺できます！

キャリア支援教育担当が指導を行いました。



研修の様子

マニュアルを確認しながら、効果的なパルシングフラッシュ方法やドレッシング剤より広範囲に消毒するなど、細かいポイントを意識して丁寧に実施していました。穿刺・抜去の手技のほか、CVポートの管理や合併症、観察点について確認しました。



滴下速度の計算についても改めて確認し、キョクイファイナルチェックや7Rの確認、指差し呼称も確実に実施していました。また、患者が安心できるよう、具体的な処置内容の説明や声掛けを意識していました。



研修者の声



- 穿刺時の「コツツ」という感覚を確認でき、イメージがついた。
- 病棟で見学していた内容と知識が結びついた。
- 化学療法を受けている患者さんは精神的にも身体的にも辛い状況にある。**声掛けも大切にしたい**と思った。
- さまざまな合併症リスクがあり、**観察の重要性**を再認識した。